

旬の話題

■オシリス・レックスのサンプル到着!進む、小惑星探査

2023年9月24日、NASAの小惑星探査機オシリス・レックスが7年にわたる探査ミッションを終え、採取したサンプルを無事地球に届けて更なる拡張ミッションへ向かいました。小惑星からのサンプル回収成功は日本の小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」に続き、世界3例目です。今回探査した小惑星ベンヌは直径が500mの小惑星で、有機物や鉱物を多く含みます。2020年までに日本のはやぶさ2が探査を行った小惑星リュウグウとよく似ており、この2つの小惑星は同じ母天体の破片から生まれた兄弟の星である可能性もあるそうです。

小惑星は46億年前に太陽系が誕生した時に惑星にならなかった原始微惑星の化石といわれる天体です。これからの詳細な分析により太陽系形成や生命の起源解明の手がかりとなることが期待されます。そして今回のミッションではJAXAがはやぶさや、はやぶさ2で得た経験が参考にされました。現在拡張ミッション中のはやぶさ2、そして最後までカプセルに寄り添い、地球を守る大気に消えていった初代はやぶさも今ごろ祝福してくれているのではないのでしょうか。



世界3例目となるサンプル回収に成功したオシリス・レックスとベンヌ
(画像:NASA/Goddard/University of Arizona)

観望会のご案内

札幌市天文台

【住所】札幌市中央区中島公園1-17 (コンサートホールKitaraと豊平館の間)
【休台日】月曜日、火曜日午後、祝日の翌日、年末年始(12月29日~1月3日)
【お問い合わせ】☎011-511-9624 (札幌市天文台)

★昼間公開

日 程

火曜日 10:00~12:00
水曜日~日曜日 ①10:00~12:00
②14:00~16:00

観望対象

太陽、昼間に見える星



▲札幌市天文台では口径20cmの屈折望遠鏡で星を観望することができます。

★夜間公開 ※事前予約が必要です。

12月の日程

①12月8日(金)~10日(日)
②12月22日(金)~24日(日)
18:00~20:00 (受け付け11月15日9:00~)

観望対象

①木星、秋から冬の星座の星
②月、木星、冬の星座の星

1月の日程

1月19日(金)~21日(日)
18:00~20:00 (受け付け12月15日9:00~)

観望対象

月、木星、冬の星座の星

2月の日程

①2月2日(金)~4日(日)
②2月16日(金)~18日(日)
18:00~20:00 (受け付け1月16日9:00~)

観望対象

①木星、冬の星座の星
②月、木星、冬の星座の星

ご予約方法

○電話予約
札幌市青少年科学館
TEL.011-892-5004
(9:00~17:00、月曜日除く)
○web予約
電子チケットサービス「teket」
<https://teket.jp/g/b1urq6v0l2>



▲teket内科学館ページ

— 科学の今と未来をつなぐ —
札幌市青少年科学館
Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)



【休館中仮事務所】〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 (ちえりあ内)
【TEL】011-892-5001 【FAX】011-894-5445 【ホームページ】<https://www.ssc.slp.or.jp/>

長期休館のお知らせ

展示物大規模リニューアル・施設の長寿命化等のための改修工事に伴い、2022年8月22日より休館しています(～2024年3月末予定)。事務所移転時期につきましては、別途ホームページ等でお知らせいたします。

札幌市青少年科学館天文情報リーフレット

星空散歩

HOSHIZORASAMPO

2023年
冬号
Vol.108

今回の表紙写真は 幻日(げんじつ)

この日の最低気温は-26.6℃。窓の外にはダイヤモンドダストが見えていました。細かい氷の結晶に太陽光が反射することで、このような美しい現象が起こります。冷え込む朝も楽しみになりますね。

撮影者:札幌市青少年科学館 大佐賀諒 撮影日:2023年1月30日7時29分
撮影地:北海道江別市
データ:Sony ILCE-6400 / Sony E PZ 18-105mm F4 G OSS
20mm(30mm) F9.0 ISO 800 シャッタースピード1/4000秒

表紙の写真募集中!

あなたの写真が表紙になるかも!

詳しくは...

札幌市青少年科学館 星空散歩

検索



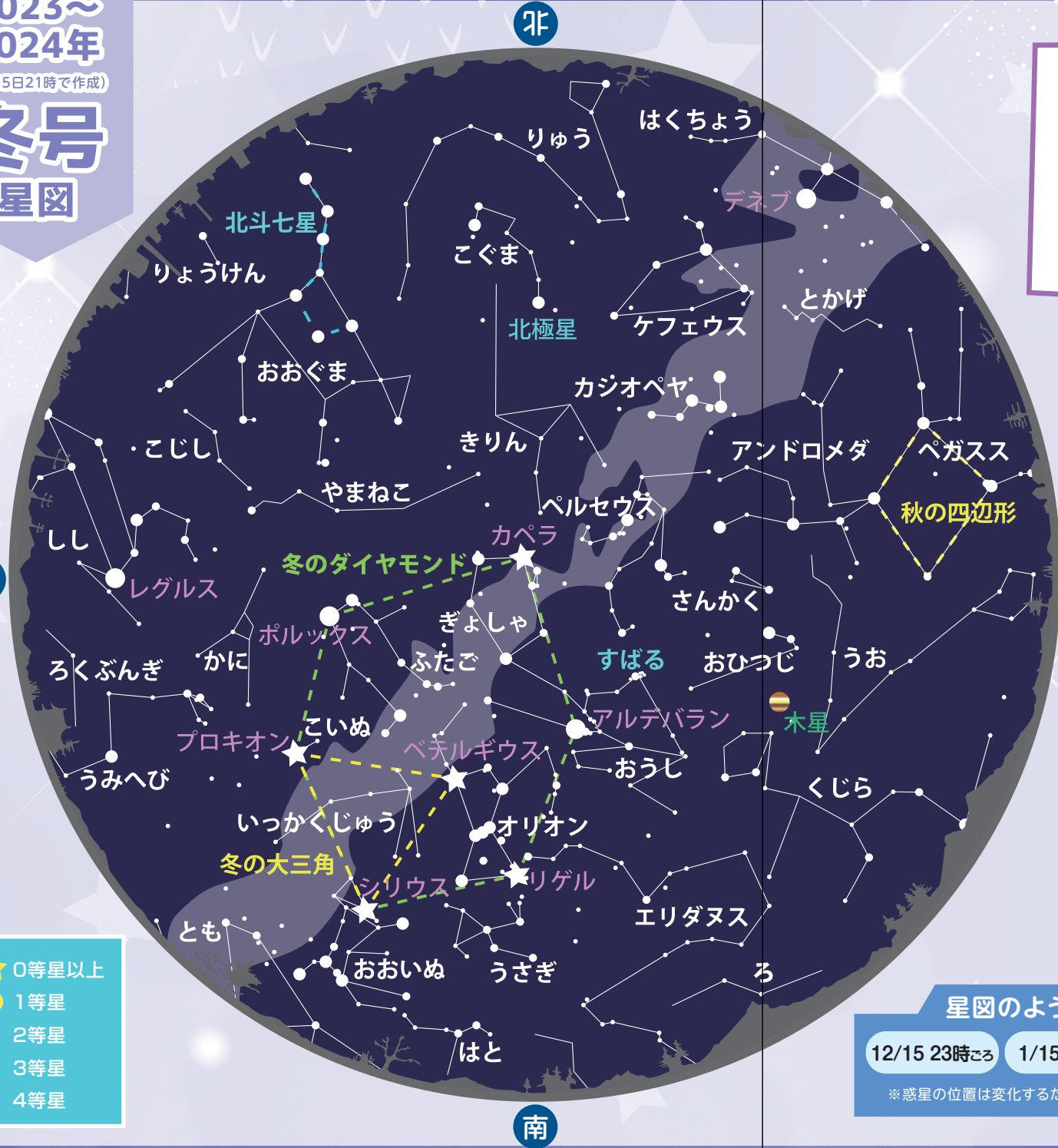
2023~
2024年

(1月15日21時で作成)

冬号
星図

冊

- ★ 0等星以上
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星



寒さが厳しいこの季節、星々も凍りついたように凜と輝きます。最も目立って輝くのは、太陽系の惑星のひとつ、木星です。
木星から東側へ目を移すと、明るい冬の星たちが見つかります。形がわかりやすいオリオン座や、特に明るくて見つけやすいシリウスから、「冬のダイアモンド」をたどってみましょう。さらに周りの明るい星たちを結びと、「冬のダイヤモンド」もたどることができますよ。

星図の
使い方



- ①星図は空にかかげて使います。
- ②空にかかげたら、自分の向いている方角と星図の方角とを合わせて星を探しましょう。



星図のように見える時刻

12/15 23時ごろ 1/15 21時ごろ 2/15 19時ごろ

※惑星の位置は変化するため、1/15の位置を示しています。

月のかたち

- 満月 12/27、1/26、2/24
- 下弦 12/5、1/4、2/3
- 新月 12/13、1/11、2/10
- 上弦 12/20、1/18、2/17

旬の話題

■冬至

2023年12月22日は冬至です。北半球では太陽の高度が最も低くなり、昼が短い時期となります。冬至を節目にして太陽の力が増すようすから、太陽が生まれ変わる



日とも考えられ、古くからさまざまな行事がおこなわれてきました。日本では、ゆず湯に入る、「ん」の付くものを食べるといった習慣が良く知られていますね。伝統にも思いをはせながら、厳しい冬を乗り越えていきましょう。

星座のおはなし

■オリオン座のおはなし

オリオンは海神ポセイドンの息子でとても体が強く、なんと海の上を歩くことができるというとても優れた狩人でした。さらには容姿も美しかったそうで、かなり目立つ星座となったことにも納得ですね。近くにあるおおいぬ座とこいぬ座はオリオンの猟犬だったというお話もあります。



みつけた

時刻と方位が分かればすぐに見つけることができますよ。オリオン座には1等星が2つ、2等星が5つと、明るい星がたくさんあり、街中からでも星座の形がはっきりとわかります。また、有名な星雲があります。暗いところでは肉眼でも見ることができるオリオン大星雲(M42)や、ウルトラマンの故郷のモデルとなったM78があり、肉眼、双眼鏡、望遠鏡、どの方法で見ても楽しめる星座の1つです。オリオン座の東側にシリウスとプロキオンという明るい星があり、オリオンの右肩のベテルギウスを加えて冬のダイアモンドになります。3つとも明るい1等星以上の星です。

- 12月…南東の空21時ごろ
- 1月…南の空21時ごろ
- 2月…南西の空21時ごろ